

日本語学習と企業内研修

SP JAPAN



プログラムの構成

第一段階

日本語学習 (9ヶ月間: 10月から翌年6月まで)

日本語学校にて、レベルに分かれて日本語を集中的に学習します。また、企業訪問と研修旅行から、日本の産業・経済・文化への理解を多面的に深めていきます。

第二段階

企業内研修 (6ヶ月間: 7月から12月まで)

各奨学生の専門に応じた企業でのインターンシップにおける実践的な経験を通じて、日本のエキスパートとして活躍していくための能力を高めていきます。

450名近くの当プログラム修了生による世界的な同窓会ネットワークは、日独二国間の更なる発展を支える重要な礎となっています。

日本語学習と企業内研修

は、ドイツ人向けのドイツ国費奨学金プログラムで、ドイツ連邦教育研究省の拠出金によって1984年から実施されており、経済・産業分野における日本のエキスパート育成を目的としています。

情報工学、自然科学、工学、法学、政治学、経済学、社会学、建築学(医学、人文科学、芸術は除く)分野での学士課程修了者を対象とし、毎年10名を限度に奨学生が選ばれています。

DAAD東京事務所はこの奨学生に対し、十分な奨学金の給付にとどまらず、企業訪問や研修旅行、在留資格に関するサポートなどを通じて、奨学生が安心してプログラムを遂行できる環境を提供しています。

ドイツ語: „Sprache und Praxis in Japan“ Programm (SP Japan)

ドイツ学術交流会 (DAAD)

ドイツ学術交流会 (DAAD) は、ドイツ連邦共和国の公的拠出金を主な財源基盤とし、ドイツの大学が共同で設置している機関です。大学間や研究者、学生の国際交流促進を主な目的とし、奨学金制度を持つ機関として世界最大のもので、東京事務所は1978年の設立以来、日独両国の学術交流発展に貢献しております。

ドイツ学術交流会 (DAAD) 東京事務所
〒107-0052 東京都港区赤坂七丁目5番56号
TEL: 03-3582-5962
FAX: 03-3582-5554

<https://www.daad.jp/ja/>